

近畿学校保健学会通信

№59

昭和 63 年 2 月 1 日 発行
近畿学校保健学会事務所
〒640 和歌山市九番丁九
和歌山県立医科大学衛生学教室内
TEL 0734-31-2151(内線324)
振替口座 大阪4-107021番

第35回近畿学校保健学会の開催にあたって

第35回近畿学校保健学会

会 長 金 井 秀 子

(京都教育大学 教授)

昨年 6 月和歌山大学で開催されました第34回近畿学校保健学会大会の総会におきまして、今回は京都府が当番としてお世話させていただくことが決定され、同時に私が学会会長の大役をお引き受けることとなりました。会員の皆様方の暖かい御支援を賜わりまして、意義深い学会大会にいたすべく、微力ながら努力いたしたいと存じます。

開催要項にもありますように期日は 6 月 12 日(日)、会場は京都伏見区にあります京都教育大学教育学部にさせていただきました。学舎は京阪電車藤森駅と墨染駅とのほぼ中間にあり、徒歩でほぼ 5 分ぐらいのところにあります。深草少将と小野小町のゆかりの地で、樹木も多く、静かなキャンパスであります。詳細につきましては、次号の学会通信に掲載させていただきます。

本学会の日程および内容は、慣例に従って、午前中は一般演題の発表と質疑を行ないます。限られた時間ではありますが、出来るだけゆとりをもたせて、十分に討論していただけるように工夫したいと考えております。多くの方々による研究の成果の御発表を期待しております。午後の特別講演では「スポーツ障害予防と保健指導」についてスポーツ医学の専門家でもある、榊田喜三郎・京都府立医科大学整形外科教授にお願いしております。近年、発育期にある子どもに激しいスポーツのトレーニングによって骨や関節等に傷害が多くみられるようになりました。学校保健指導の立場からの予防的処置や日常生活での指導などについて、臨床現場からの示唆に富んだ講演をしていただけたと思います。また、シンポジウムでは子どものストレスに対する反応としての病気や不適応の症状について、早期に見つけて早期に対応することが必要であります。学校では保健室が大きな役割を担っているのですが、家庭との協力体制がなければ非常に困難であります。子どもの心の問題を実際に子どもと親を治療し、相談にのってもらえる、医師や教諭の方々の討論の場を企画いたしました。二十一世紀に向かって種々の困難をも克服し、厳しい環境にも適応していける、たくましく健康な子どもを家庭も学校も一体となって育てていかなければなりません。心の健康問題について生々しい議論を展開していただきたく思います。

大会当日は日曜日でもあり、大勢の方々の御参加を得て、大会を盛り上げていただきたく、心からお願い申し上げます。

1

第35回近畿学校保健学会(昭和63年度年次学会)開催要項

1. 会 長 京都教育大学教授 金井 秀子
2. 事 務 局 ☎612 京都市伏見区深草藤森町 1
京都教育大学教育学部
第35回近畿学校保健学会事務局
(事務局長 京都教育大学教授 寺田 光世)
(075)641-9281(代) 内線510(金井)、511(山際)、512(寺田)
3. 開 催 期 日 昭和63年 6 月12日 (日)
4. 会 場 京都教育大学
5. 日 程 受付 午前 9 時より
午前 3 会場にて 一般演題発表
午後 ○総会
○特別講演「スポーツ障害予防と保健指導」
演者 榊田喜三郎(京都府立医科大学教授)
○シンポジウム「子どもの心身症予防における家庭と学校の役割」
座長 友久 久雄(京都教育大学教授)
話題提供者(交渉中)
○懇親会
6. 会 費 正 会 員 3,000円
当日会員 2,000円(含資料代)
7. 参 加 申 込 近畿内外を問わず、当日飛び入りでも結構ですが、返信用封筒(宛名及び70円切手付)を下記事務所宛送付していただければ、5月下旬までにプログラムその他詳細を掲載した「学会通信」を発送致します。
なお、一般演題発表希望者は共同研究発表者も含めて正会員になる必要があります。会員でない方は「近畿学校保健学会事務所」(☎640 和歌山市九番丁 9 和歌山県立医科大学衛生学教室内 Tel (0734)31-2151 内線324)に入会手続きをして下さい。
8. 一般演題申込 発表希望者は、申込み用紙に必要事項を記入の上、4月12日(必着)までに第35回学会事務局宛申し込んで下さい。折返し予稿集用オフセット印刷原稿用紙を発送します。

第35回 近畿学校保健学会演題申込み用紙 (下記必読)

(1題1葉に記入のこと。＊印欄は記入しないこと。)

演題名	
発表者氏名、所属 (連名で発表の場合は演者に○印、新入会員には＊印)	
連絡先	TEL ()
住所	
氏名	
発表要旨 (100字ぐらいに)	
＊受付番号 :	演題番号 :
原稿用紙発送 : 月 H	発表時刻 : 午前 時 分
:	会場 : A . B . C

申込用紙不足の場合は、これと同じ様式のものをういて下さい。

記

1. 口演内容は学校保健の立場に立脚し、具体的な資料にもとづいた研究発表を希望します。
2. 発表者は原則として会費を前納して下さい。
3. 演題申込みはこの用紙 (または同様式) に必要事項を記入し、昭和63年4月12日(火)までに第35回学会事務局あてお送り下さい。折返し予稿集作成用の所定の原稿用紙をお送りします。

申込み先: 612 京都市伏見区深草藤森町1 京都教育大学教育学部
第35回近畿学校保健学会事務局

昭和62年度第2回幹事会記録

日 時 昭和62年12月5日(日) 午後2時半～4時半

場 所 大阪・シグナルセンタービル5階会議室

出席者 18名

議 事

1) 第35回近畿学校保健学会(京都)の企画について

(1)金井年次学会長より第35回近畿学校保健学会の準備状況が報告され、開催要項が原案どおり承認された。なお、シンポジウムの話題提供者は原則的に京都地区の人から選ぶことで了承された。

(2)第35回の企画にかかわる問題ではないが、会長講演等年次学会の企画のあり方についての基本的問題が提起され、来年度以降の幹事会で検討することになった。

(3)年次学会に対する学会本部援助金は会計の見通しがついたので、昭和63年度から予算の15万円を20万円に増額することにした。

2) その他

(1)名誉会員本原貫一郎先生のご逝去(11月15日)に対し、慎んで哀悼の意を表した。追悼文は林幹事をお願いすることに決定した。

(2)学会役員選出の準備について

各府県単位で行う役員の選出の資料として、会員の会費納入状況と現評議員の名簿を学会事務所から全幹事に送付すること、および次回幹事会で各府県単位で推薦された役員の確認を行うことになった。

(3)第36回年次学会の件

第36回年次学会は兵庫県で行うことを承認し、学会長については次回幹事会までに地元での意見調整をはかり決定することになった。

(4)会員のあり方、評議員の適正数、学会と学校保健会および全国学会との関係等についての意見が出されたが、今後の検討課題とすることになった。

次回幹事会は昭和63年4月30日(土)、京都で学会場の下見をかねて開催される。

なお、幹事会終了後、武田幹事長から第35回日本学校保健学会への協力依頼があった。

昭和62年度会費納入について

昭和61・62年度会費(各3,000円)が未納の会員の方は、至急同封の振替用紙を使って学会事務所まで納入されますようお願いいたします。年会費を納入されないと、翌年度から学会通信その他の案内が送られなくなります。

本原貫一郎先生 御逝去

近畿学校保健学会名誉会員本原貫一郎先生（78歳）は昭和62年11月15日の早朝心不全のためご逝去されました。

先生は昭和8年京都帝国大学医学部ご卒業後京都帝国大学医学部副手、大阪通信局医官等を経て、昭和22年4月大津市で開業されました。現在に至るまで大津市長良小学校校医として40年の長きにわたり児童の保健管理や保健教育に優れた成果をあげられました。この間、昭和37-43年大津市医師会長、昭和45-51年滋賀県医師会長、昭和51-60年滋賀県学校保健会会長等を歴任されました。昭和49年-60年近畿学校保健学会評議員、昭和61年-62年近畿学校保健学会名誉会員として活躍され、本学会の発展に貢献されました。ここに先生のご功績の一端を偲び深く哀悼の意を表します。

合 掌

(林 正 記)

山岡 誠一先生 御逝去

本学会名誉会員、山岡誠一先生は、昭和62年12月24日に、悪性リンパ腫のため、京都府立医科大学附属病院で逝去されました。享年69歳。

先生は、大正7年（1918）4月15日、京都府相楽郡加茂町に生まれ、京都府師範学校を経て、昭和19年に東京体育専門学校（現筑波大学、体育系）を卒業し、京都教育大学教授、大阪体育大学教授などを歴任されました。この間、スポーツのエネルギー代謝に関する研究で、昭和28年に医学博士の学位を受けられました。これは、体育学出身者によってなされたスポーツの体力医学的研究の最初の学位取得でありました。

御専門は、エネルギー代謝やアミノ酸代謝などの運動生理学ですが、この研究を児童・生徒の発育、栄養、運動などにも応用し、その健康の保持・増進に資する多くの論文を発表されました。また、学校保健活動にも尽力し、本学会では、発足以来、幹事、評議員として学会の発展に寄与して頂き、昭和51年には、京都で開かれた第23回近畿学校保健学会会長の大役を果たされました。

保健教育関係では、教員養成大学における保健教育を重視し、全国組織の教員養成系大学保健協議会の設立に奔走し、協議会設立後は、その推進力となって、保健科教員養成の充実に貢献されました。

御自宅は京都市伏見区桃山南大島町71-12で、奥様の美津さんがおられます。

先生の御生前のかずかずの御活躍に敬意を表し、謹んで先生の御冥福をお祈り申し上げます。

(米田幸雄 記)

《第35回日本学校保健学会の案内》

下記のとおり開催されますので、関心のある方は、どなたでも参加できますから近畿学校保健学会と同様積極的に御参加下さい。

会 長 武 田 真太郎

会 期 昭和63年10月8日(土)・9日(日)

会 場 和歌山市民会館ほか

学会事務局 〒640 和歌山市九番丁九

和歌山県立医科大学 衛生学教室内

第35回日本学校保健学会事務局（電）0734-31-2151 内線324

参 加 費 6,000円（講演集代を含む） 8月31日までの前納の場合 5,000円